

学科 学年	2年全	科目 分類	歴史 History	講義	20通年 2単位 必修	学習教育 目標	(A)	担当	平田 陽一郎 HIRATA Yoichiro
概要	二年連続講義の前半部。前期は人類の誕生からエジプト・メソポタミア・地中海・インドの古代文明の形成について講義する。後期は黄河・長江両文明の成立から近代にいたる中国史に関する基本的な知識を提供しながら、二千年に及ぶ日中交流史を振り返ることで、日本を取り巻く「東アジア」という歴史的世界について理解を深める。								
科目目標 (到達目標)	世界の古代文明の特色と相互関係、「東アジア」の歴史と文化を理解すること。以上の学習を通じて、歴史的思考力や国際的な視野を培うことを目標とする。								
教科書 器材等	高校世界史改訂版、佐藤次高・木村靖二・岸本美緒 共著、山川出版社 最新世界史図説タペストリー(帝国書院)、必要に応じて資料プリントを配布する。								
評価の基準と 方法	定期試験の平均成績を70%、授業への積極姿勢(レポートの自主的提出も評価対象となる)を30%として評価する。60点以上を合格とする。								
関連科目	地理・古典(漢文)								
授業計画									
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)							
第1回		ガイダンス							
第2回		人類の誕生と洞窟壁画の謎							
第3回		文明の発生とメソポタミア文明							
第4回		エジプト文明とシリア・パレスチナの諸民族							
第5回		古代オリエントの統一とイラン文明							
第6回		古代ギリシアとペルシア戦争							
第7回		アレクサンドロス大王とギリシア・ヘレニズム文化							
第8回	×	前期中間試験							
第9回		古代ローマ帝国(1)―共和政ローマとポエニ戦争―							
第10回		古代ローマ帝国(2)―帝政ローマとキリスト教の発展―							
第11回		インダス文明と古代インドの統一王朝							
第12回		ガンダーラと大乘仏教の成立、東南アジアの古代国家							
第13回		黄河文明と殷周王朝							
第14回		春秋・戦国時代							
第15回	×	前期末試験							
第16回		秦の始皇帝と楚漢戦争							
第17回		前漢と後漢―日中交流のはじまり―							
第18回		三国志と魏志倭人伝							
第19回		魏晋南北朝と東アジアの国際情勢(1)―朝鮮半島と大和朝廷―							
第20回		魏晋南北朝と東アジアの国際情勢(2)―冊封体制と倭の五王―							
第21回		隋の統一と遣隋使							
第22回		大唐帝国―国際都市長安と遣唐使―							
第23回	×	後期中間試験							
第24回		五代十国から宋へ―科挙と日宋貿易―							
第25回		モンゴル帝国―蒙古襲来と鎌倉幕府―							
第26回		イスラーム教の誕生とイスラーム帝国の成立							
第27回		イスラーム世界の発展							
第28回		明の統一と北虜南倭							
第29回		清朝の統治とアヘン戦争							
第30回	×	学年末試験							
オフィスアワー	月・水・金曜日の放課後には、質問に対応できる。								
授業アンケートへの対応	授業中、受講学生への発問・応答を増やします。								
備考	なし								
更新履歴	20080314、新規作成								